

形式：オンラインセミナー（Live 配信）

補足： Live 配信に加え【見逃し配信】も実施します。当日の受講が難しい場合は見逃し配信をご視聴ください（配信期間は 10 日間程度）

ジャンル：食品

講習会コード： t d s 2 0 2 5 0 1 2 9 z 1

機器測定、官能評価、生理学的測定を用いた食品テクスチャーの評価方法について、それらの長所や短所を含めて解説します。個人差、咀嚼のシミュレーション、不均一な食品の評価方法など、最近の研究動向についても紹介します。

食品テクスチャーを評価する 3 つの方法 （機器測定、官能評価、生理学的測定）と将来動向

講師： 国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構（農研機構）

食品研究部門 研究推進部研究推進室 神山かおる先生

お茶の水女子大学理学部化学科卒。京都大学博士（農学）、新潟大学博士（歯学）。農林水産省食品総合研究所研究官、独立行政法人食品総合研究所主任研究官から食品物理機能研究室長、独立行政法人農業・食品産業技術総合研究機構食品総合研究所食品物性ユニット長、国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構食品総合研究所上席研究員、国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構食品研究部門食品物理機能ユニット長を経て、2023 年 3 月定年退職。

食品物性、テクスチャー評価法の研究に長年携わり、力学特性の機器分析、摂食中のヒトの生理計測法の評価技術を専門としている。

現在は農研機構 食品研究部門の再雇用職員、各大学で食品テクスチャーや食品物性の非常勤講師を務める。

● 日程 2025 年 1 月 29 日（水）13：00～17：00

※見逃し配信のみでのご受講も可能です

● 受講料 1 名 36,300 円（税込／テキスト）

※11/29（金）までにお申込の場合、29,040 円（2 割引）となります

I. 食品テクスチャーとは

1. 食品物性とテクスチャー
2. 食品テクスチャー研究の歴史
3. テクスチャーの定義とその構成要素
4. 食品テクスチャーの役割

II. 食品テクスチャーを評価する 3 つの方法

1. 機器測定法
 - ① 基礎的なレオロジー測定法
 - ② 経験的に用いられている方法
 - ③ 模擬的な 2 バイトテクスチャー測定法
2. 官能評価による方法
 - ① 日本語テクスチャー用語の特徴
 - ② テクスチャープロファイル法
 - ③ 動的な官能評価

3. ヒトの生理学的測定を利用した評価法

- ① 方法の分類
- ② 咀嚼圧
- ③ 咀嚼運動
- ④ 摂食中の舌の活動
- ⑤ 咀嚼筋筋電図
- ⑥ その他の方法

III. 最近の食品テクスチャー研究の動向

1. 食べ方とテクスチャー
2. 咀嚼ロボット
3. 生理学的測定値を利用したシミュレーション
4. 舌モデルを用いた評価
5. これからの食品テクスチャー評価

IV. 質疑応答

<習得知識>

- ・食品テクスチャーの基本的な役割と意義
- ・食品テクスチャーの評価方法の体系的理解
- ・食品テクスチャーの最近の研究動向

<講義概要>

食品のテクスチャーは、食品のもつ物理的な性質により、それを触ったり食べたりする人が感じられる特性といえる。食品を食べている短い間にテクスチャーは劇的に変化するが、口の中の食物は自分だけでなく他者からも見えないため、触覚からの情報の重要性が高くなる。歯応え、舌触り、喉越し、などは、食品のおいしさを決定づける重要な因子として知られている。テクスチャーは、摂食中に起こる味や匂いをもつ分子の放出に影響するため、フレーバー、いわゆる「味」をも変化させている。

本講座では、物理学・心理学・生理学に基づいた、テクスチャーを評価する方法について、各手法の長所と短所を挙げて解説する。この中では比較的新しい生理学的測定結果を利用した、個人差の取り扱い、食べ方の違い、咀嚼や嚥下のシミュレーション、機器による測定条件設定などについて概説する。さらに、不均一な食品のテクスチャーを評価するための新しい試みを紹介する。

<お申込要項>

下記に必要事項をご記入の上、FAXにてお申込みください（※は必須です）


FAX
03-6261-7924

申込講座	2025/1/29	食品テクスチャーを評価する3つの方法 (機器測定、官能評価、生理学的測定)と将来動向	
会社名※			
所在地※ <small>(請求書等の送付先)</small>	〒		
参加者①	氏名※		TEL※
	所属※		FAX
			役職
	Email※		@
会員登録	<input type="checkbox"/> 登録する <input type="checkbox"/> 登録しない <small>(登録料・会費はかかりません。お得な割引や会員イベント情報等を配信します)</small>		
参加者②	氏名※		TEL※
	所属※		FAX
			役職
	Email※		@
会員登録	<input type="checkbox"/> 登録する <input type="checkbox"/> 登録しない <small>(登録料・会費はかかりません。お得な割引や会員イベント情報等を配信します)</small>		
支払方法※	<input type="checkbox"/> 銀行振込 (紙請求書) <input type="checkbox"/> 銀行振込 (PDF 請求書) <input type="checkbox"/> カード支払い <input type="checkbox"/> 未定のため後日連絡する		
支払予定日※	<input type="checkbox"/> [] 月 [] 日ごろを予定している <input type="checkbox"/> 未定のため後日連絡する		
備考※			

お申込について

① 以下のいずれかの方法でお申込みください

A	FAX	上記に必要事項をご記入の上、送信ください
B	E-mail	送信先： entry@tech-d.jp メール本文に<①【申込講座】 ②【会社名】 ③【所在地】 ④【氏名】 ⑤【所属】 ⑥【Email】 ⑦【TEL】 ⑧【支払方法】、⑨【支払予定日】>をご記入の上、ご送信ください
C	Web	https://tech-d.jp/ の各講座のページからお申込みください

② お申込受付後、受付完了のご連絡（メールまたはお電話）をいたします

③ 請求書等をお送りいたします

<注意>

- ① お申込後 1 週間たっても受付完了の連絡がなかった場合は、お手数ですが、弊社までご連絡ください
- ② 開催日の 7 日前以内のキャンセルはお受け致しかねます。必要に応じ代理の方のご出席をお願いいたします

お支払について

<期日>

受講料は講習会開催日の翌月末日までにお支払いください

※期日までに間に合わない場合は、対応いたしますのでご一報ください

<方法>

- ① 銀行振込（振込手数料は御社にてご負担願います）
- ② クレジットカード（支払方法はメールでご案内します）

【お振込先】

振込先銀行	三井住友銀行
支店	多摩センター支店 (909)
口座番号	(普) 0 9 7 3 5 2 2
名義	株式会社テックデザイン

主催 申込・問合せ先	名称	株式会社テックデザイン (http://www.tech-d.jp/)		
	住所	〒102-0074 東京都千代田区九段南 3-9-14 九段南センタービル 5 階		
	電話	03-6261-7920	FAX	03-6261-7924
	E-mail	entry@tech-d.jp (申込) / info@tech-d.jp (問合せ)		